

児童家庭支援センター
ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園

発行日：令和5年1月吉日【第31号】

あいの宅食サポートプロジェクト

～“愛(あい)”を持って支援家庭に“会い(あい)”に行く～



やすだ も え か
相談員：安田 萌夏
(社会福祉士)

コロナウイルスが流行し始めた2019年末からおよそ3年あまりの月日が経ちました。しかし、未だコロナウイルスが収束する気配は感じられません。この長引くコロナ禍で、精神的にも経済的にも各家庭は大きな影響を受けています。そこで2022年8月にスタートしたのが「あいの宅食サポートプロジェクト」です。ファミリーステーションいなみえん(以下、当センター)では、これまでも他団体の協力の下、食の支援を行ってきましたが、今年度は当センター独自の事業として食の支援を行うこととなりました。「あいの宅食サポートプロジェクト」には、当法人伊奈美園の園章のi(あい)ちゃんマーク、“愛(あい)”を持って支援家庭に“会い(あい)”に行くといった意味が込められています。



伊奈美園
園章

このプロジェクトでは、加賀市在住の18歳までの子どもがいる一部の子育て家庭に食材・日用品を届けています。支援家庭には、食材・日用品の希望を聞き取り、それをもとに物品を購入し、毎月訪問して配付を行います。支援家庭によって必要な物品はそれぞれです。そのため、なるべく希望に添えるように細かく聞き取りを行い、限られた予算で最大限希望に添えるようなかたちで食材・日用品を購入し、各家庭に届けています。また、配付を行うだけでなく、最近のお子さんの様子や親御さんの様子などを聞き、各家庭が抱えている悩みに耳を傾けるようにしています。さらに、必要に応じて加賀市の関係機関と連携して情報共有を行います。



実際に配布した物品の一例

毎月の配付に加え、こども宅食応援団に登録、チャリティーサンタに応募し、寄付としていただいた食材や日用品、クリスマスケーキ、子ども向けの本も支援家庭に配付しました。

こども宅食応援団は、地域で子ども宅食事業を立ち上げる際の資金援助、事業を立ち上げる団体への宅食のノウハウの提供等を行っており、こども宅食事業の全国展開を目指して活動している団体です。各都道府県から複数の団体がこども宅食応援団に登録しています。



「ブックサンタ」でいただいた本の一部

また、チャリティーサンタでは、全国の約 500 書店と連携して、新品の本の寄付を募る「ブックサンタ」という取組を行っています。集まった本を厳しい環境に置かれている全国の子どもたちに届けるという内容で、2017 年にスタートしました。2021 年は 3.5 万冊を超える寄付が集まり、ひとり親・困窮家庭支援、フードバンク、子ども食堂、社会福祉協議会、児童福祉施設など 120 以上の団体に寄贈しています。

8、9月の訪問の際には、「あいの宅食サポートプロジェクト」で毎月行っている配付に加え、こども宅食応援団から提供された食材（箱入りのペットボトルのお茶、缶詰、カップラーメン等）や日用品（ハンドソープ、マスク、ティッシュペーパー等）をこのプロジェクトの全ての支援家庭に配付しました。配付した際には、「ありがとうございます」「助かります」などのお礼の言葉をいただき、各家庭からの反響が大きいものであったと感じています。

12 月には、毎月の訪問とは別に、こども宅食応援団を通していただいたジュン・アシダ様からの寄付金でクリスマスケーキを購入し、配付しました。当初、希望する家庭のみに配布する予定でしたが、ニーズが非常に高く、全ての支援家庭からの希望があり、12 月 23 日と 12 月 24 日の 2 日間で配付を行いました。複数のクリスマスケーキの中から、各家庭のお子さんに好きなケーキを 1 台選んでいただいたため、ケーキを自分で選ぶ経験を子どもたちに提供できた貴重な機会になったのではないかと思います。支援家庭からは、「クリスマスケーキまでいただいていたいいんですか？」という嬉しそうな驚くような反応もありました。

また、クリスマスケーキ配付時に、チャリティーサンタからいただいた子ども用の本も配付しました。チャリティーサンタで配付した本は、幼児・小学生・中高生向けに分かれており、子どもの年齢に合わせた本を用意していただいたため、各お子さんにあった支援を行うことができたのではないかと感じています。



24 日はセンターで配布を行いました！

このプロジェクトが始まった直後の訪問では、希望する食材・日用品を訪問して配付するものの、各家庭からのお話を聞く機会が少なかったように感じます。しかし、訪問の回数を重ねるごとに、各家庭から自発的に話していただくことも多くなってきました。お子さんの様子、親御さんの様子などを話していただける際には、その家庭が抱えている悩みを当センターの職員と一緒に整理したり、必要に応じて加賀市の関係機関と連携して情報を共有したりすることで、支援家庭が少しでも精神的にも経済的にも良い方向に向けばと考えています。これからも、「あいの宅食サポートプロジェクト」を通じて、継続的に「食」を届けていき、各家庭との関係を少しずつ構築していきたいです。



里親支援の現状と展望

もりかわ ともみ
臨床心理士：森川 知美

児童家庭支援センターの運営設置要綱の事業内容等には、「里親等への支援」を実施すると定められています。当センターでも、地域や関係機関とのつながりを活かし里親等への支援を実施しています。今年度は石川県の里親会や関係機関のご協力のもと、今後の支援の幅を広げるために、当センター職員の勉強も兼ねて研修会に参加したり、里親会主催のイベントのお手伝い等をさせていただきました。

11月5日に開催された里親会主催のイベント「朝が来る」の上映会&サロン会では当センター職員も会場設営等のお手伝いをしながら里親さんたちの日々の思いを直接聞く経験もさせていただきました。



上映会の受付にて

来年度以降も、こうした研修会や里親さんたちと直接接することのできる機会を大切に、今後は里親さんたちが困ったときや悩んだときに「あ！ファミリーステーションいなみえんに相談してみようかな」と思えるような関係性を築いていきたいです。

地域と共に歩むー講演活動報告ー

あさだ のぶふみ
主任心理士：浅田 伸史

令和4年11月から12月にかけて、4件の講演依頼が続いた。普段の相談活動とはまた違った形で、地域のみなさまと関わりを持つ機会であり楽しみな時間でもある。

今回は、教育関係機関での講演が2件と子育て講演を2件させていただいた。どの会でも、私が普段感じていることを中心に自由に話させていただいた。教育でも、子育てでも、絶対こうしなくてはいけない「正解」はない、一人一人の子どもたちと向き合う中で、私たちは迷い、悩んで関わっていくしかなく、それがとても大事なことだと思っている。

講演後に行った座談会の時間では、参加して下さった方々の貴重な体験談を聴かせて頂けた。子どもと真剣に関わるからこそ感じる大変さと喜びの両方が感じられるお話だった。お互いの話から新しい発見もあり、みなさんが笑顔で帰って行かれる様子を拝見し、会の準備をして下さったスタッフの皆さんも私も参加された皆さん以上に元気と笑顔を頂くことができた。



講演活動の様子

「冬の片山津温泉」

たなか たかし
所長：田中 孝

当法人では十数年前より、園庭の外壁や大型滑り台・樹木に色んなLEDイルミネーションを取り付け、毎年11月から点灯スタートし、クリスマスを過ぎて3月末まで点けて冬を彩っています。そのおかげで、子ども達はもちろん職員も胸躍る雰囲気になります。法人が位置する加賀市片山津温泉でも冬の街を明るくにぎやかにする目的から、ホテルや商店の壁などにイルミネーション等を点灯させる“冬のライトアップ運動”を実施するようになり、12月に入ると町内の旅館やお店・公園などもピカピカと光って、とても華やかになります。世の中全体が少しでも明るくなればと願っていつも眺めています。

【今後の予定】

- ・2月10日(金)
山代出張相談(月定例)
- ・2月13日(月)
山代地区子どもを育てる会(月定例)
- ・2月17日(金)
親の会(月定例)
- ・2月21日(火)
子ども支援連絡会(月定例)



園庭より、当センターをのぞむ

曜日	一般相談担当	心理担当(要予約)		
	安田	浅田	森川	垣内
月	10:00-17:00		9:00-17:00	10:00-17:00
火	10:00-17:00		13:00-17:00	10:00-17:00
水	10:00-17:00		13:00-17:00	
木	10:00-17:00		13:00-17:00	
金	10:00-17:00		9:00-17:00	10:00-17:00
土		10:00-17:00	9:00-14:30	
日				

【山代出張相談】

〈場所〉山代よりみちハウス

〈日時〉毎月第2金曜日

14:00-16:00

連絡は当センターまで♪

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889

FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp

月曜日～土曜日 9:00-17:00